

令和5年度 第2次筆記試験 事例Ⅳ(解答用紙)

第1問 (配点 20 点)

(設問 1)

	(a)	(b)
①	売上高販管費率	50.07 (%)
②	有形固定資産回転率	71.90 (回)
③	当座比率	311.97 (%)

(設問 2)

同業他社との競争激化で売上が減少する中で、
未投入の商品開発のため、基礎研究費用が負担となり、人件費の削減も行っていないため、
売上高販管費率が悪化している。

第2問 (配点 30 点)

(設問 1)

(1)	63.31%	(2)	1,142 千円	(3)	3,113 千円
(4)	令和3年度損益分岐点比率：3,113÷5,796.105＝53.71% 令和4年度損益分岐点比率：3,113÷4,547.908＝68.45% 従って、 変動幅は 68.45%－53.71%＝14.74 ポイント				

(設問 2)

(1)	ある ・ ☐ ない														
X	製品	の	貢献	利益	は	8	千	万	円	と	プ	ラ	ス	の	ため。
(2)	W 製品の貢献利益 24,000－10,000＝14,000 万円 Y 製品の貢献利益 4,000－1,500＝2,500 万円 X 製品の回避不能な個別固定費 3,000 万円 共通固定費 19,000 万円 以上から、X 製品の製造を中止した場合で、需要の移動がなければ営業利益は 14,000＋2,500－3,000－19,000＝△5,500 万円 全体の営業利益を 2,500 万円にするには、追加で Y 製品の限界利益が 8,000 万円必要である。Y 製品の限界利益率は 40%なので、 必要な Y 製品の売上増加は、8,000÷40%＝20,000 万円														

(設問 3)

売	上	高	基	準	で	共	通	費	を	配	賦	す	る	方	法	は	簡	便	で
あ	る	が	、	実	際	の	製	品	毎	の	コ	ス	ト	構	造	が	考	慮	さ
れ	な	い	た	め	、	事	業	の	存	廃	判	断	や	適	正	原	価	の	見
極	め	の	参	考	と	す	る	に	は	妥	当	と	は	い	え	な	い	。	

第3問 (配点 30 点)

(設問 1)

(1)	2, 585 万円			(2)	△5, 702 万円		
(1)		1 年目	2～4 年目		5 年目		
	売上高	10, 000	10, 000		10, 000		
	変動費	4, 000	4, 000		4, 000		
	固定費	2, 200	2, 200		2, 200		
	減価償却費	2, 200	2, 200		2, 200		
	資産売却益				1, 100		
	税引前	1, 600	1, 600		2, 700		
	税引後	1, 120	1, 120		1, 890		
	減価償却費	2, 200	2, 200		2, 200		
	運転資金	△800	0		800		
	FCF	2, 520	3, 320		4, 890		
$NPV = 2, 520 \times 0.926 + 3, 320 \times (0.857 + 0.794 + 0.735) + 4, 890 \times 0.681 - 11, 000$ $= 2, 585.1 \dots \approx 2, 585 \text{ 万円}$							
(3)	設備投資の $NPV = 2, 585 \times 70\% - 5, 702 \times 30\% = 98.9 \text{ 万円}$						
	ある ・ ない						

(設問 2)

(1)	・ 10, 000 個の場合																			
		2 年目				3～4 年目				5 年目										
	売上高	10, 000				10, 000				10, 000										
	変動費	4, 000				4, 000				4, 000										
	固定費	2, 200				2, 200				2, 200										
	減価償却費	2, 750				2, 750				2, 750										
	資産売却益									1, 100										
	税引前	1, 050				1, 050				2, 150										
	税引後	735				735				1, 505										
	減価償却費	2, 750				2, 750				2, 750										
	運転資金	△800				0				800										
	FCF	2, 685				3, 485				5, 055										
	NPV＝2, 685×0. 857＋3, 485×（0. 794＋0. 735）＋5, 055×0. 681－11, 000×0. 926＝886. 1																			
・ 5, 000 個の場合																				
NPV＝985×0. 857＋1, 385×（0. 794＋0. 735）＋2, 555×0. 681－11, 000×0. 926＝△5, 484. 2																				
5, 000 個の場合は NPV がマイナスなので投資しない。																				
従って、初年度末に投資する場合の NPV の期待値は																				
NPV＝886×70%＋0×30%＝620. 2 （答え）620 万円																				

(2)	N	P	V	期	待	値	は	初	年	度	投	資	で	99	万	円	、	2	年	目
	後	で	62	0	万	円	な	の	で	、	2	年	度	期	首	に	状	況	を	勘
	案	し	て	投	資	実	行	す	る	。										

第 4 問 (配点 20 点)

(設問 1)

○	E	M	生	産	に	よ	り	製	造	コ	ス	ト	を	低	減	で	き	る	。
ま	た	生	産	設	備	の	投	資	を	避	け	、	キ	ャ	ッ	シ	ュ	フ	ロ
一	の	改	善	が	可	能	に	な	る。										

(設問 2)

自	社	生	産	に	よ	り	製	造	コ	ス	ト	の	一	部	を	固	定	費	化
す	る	こ	と	で	、	営	業	レ	バ	レ	ッ	ジ	を	利	か	せ	て	収	益
性	が	向	上	で	き	る	。												